

糸魚川市理科教育センター

平成26年度 第 21 号(通算298号)
発行平成27年 3月 2日(月)
TEL・FAX : 025-552-2241

広報理セン
広報理セン

E-mail:rika@city.itoigawa.niigata.jp
HP:http://www.itoigawa-city.jp/dd.aspx?menuid=5329



糸西自然友の会 第2回総会 鷺澤澄雄先生講演会「野鳥の生活」

2月7日(土)ヒスイ王国館にて、糸西自然友の会の第2回の総会と講演会が行われました。総会では、平成26年度の活動報告が行われました。春秋の探索会、3回のフィールドウォッチング(森林公園での野鳥観察・田海ヶ池生物観察会・大平川化石調査)、巡検登山研修会、講演会の参加者は、合計で192名に達しました。参加者の内訳は、教職員65名、児童生徒30名、一般97名です。昨年より59名も増加しました。会員の口コミ、広報の活用等による発信が参加者を増やしているようです。会の目的「糸西地域の自然を知ろう」そして「理科教育に一層の興味・関心をもとう」に賛同できる方ならどなたも参加できます。平成27年度第1回目の活動である春の探索会・総会は、4月29日(水)昭和の日です。高浪の池で活動予定です。4月に各学校に詳しいご案内をお送りいたします。窓口は、各校の理科主任の先生です。ご不明な点がございましたら事務局糸魚川市理科教育センター(552-2241)にお問い合わせください。



〔講演される鷺澤先生(左端)〕



〔挨拶する靄本会長〕

総会の後、野鳥観察会でお世話になっている鷺澤澄雄先生から講演をしていただきました。演題は「野鳥の生活」です。糸魚川市内で撮られた貴重な写真を紹介しながら、野鳥の捕食と繁殖の様子を分かりやすく話ししてくださいました。絶滅危惧種のクマタカ、アカトンボをくわえたハクセキレイ、京ヶ峰のザリガニをくわえたカワセミ、御前山のセミをくわえたアカショウビン、ハトをねらうハヤブサ、京ヶ峰のチョウゲンボウ、生活力のあるノスリ、夏だけ日本に渡ってくるサシバ、梶屋敷で繁殖している魚採りの名人ミサゴや猛禽類の食物連鎖の頂点にいるイヌワシなど、まだまだたくさんの鳥の話をしていただきました。

小4「物のあたたまり方」研修会



【サーモカメラを説明する市川協力員】

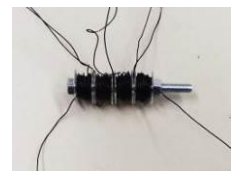
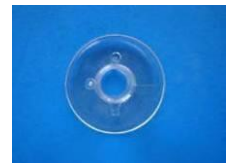
1月21日（水）糸魚川小学校の理科室で標記の研修会を行いました。午後4時からのミニ研修会です。研修会で紹介したポイント、

- 1 熱伝導を確かめる実験で、金属板に塗るろう（独特の臭いが気になる児童がいる）の代わりにする物として、バター、マーガリン、ラード（豚脂）、ヘット（牛脂）、チーズなどの油脂がいいにおいがするので、子どもの抵抗が少なくていいです。
- 2 金属板として市販のアルミ皿を使うと加工しやすく便利です。
- 3 水のあたたまり方の実験では、サーモテープやサーモインクが有効です。更に、絵の具の金色や銀色が安くて、しかも対流の様子が分かりやすいです。
- 4 サーモカメラを使うと熱の変化が視覚で簡単にとらえられます。理センにあります。カメラの貸出をしています。利用ください。

小5「電流のはたらき」研修会

1月28日（水）糸魚川小学校理科室で、先生方を対象とした本年度最後の研修会を実施しました。午後4時からのミニ研修会です。

「電磁石をつくろう」では、教科書で紹介されているストローを用いる方法は、ストローの材質が柔らかく、横長のためエナメル線が巻きにくいです。研修会では（ミシンで使う）ボビンを用いる方法を紹介しました。ボビンは両側に壁があり、横も短い幅に巻くため容易に作成できます。長さ60mmのボルトとナットを利用してエナメル線を50回巻きます。200回巻はこれを4個つなげれば出来上がりです。子どもの自作教材にいかがですか。



電気自動車の学習はいかがでしょうか！



子ども達に電気自動車の試乗体験はいかがでしょうか。希望日をお聞かせいただければ、市役所車両課との交渉や電気自動車の運搬は理センが行います。マフラーがない！音がとても静かだ！暖房を使うと走行距離がどんどん減っちゃう！など、考えさせる環境教育にぴったりです。お問い合わせをお待ちしています。